

公の施設目標管理型評価書【新潟市水族館】

施設名	新潟市水族館				
管理者名	公益財団法人新潟市海洋河川文化財団	指定期間	平成31年4月1日	～	令和6年3月31日
新潟市主管課	新潟市文化スポーツ部文化政策課				
所在地	区名	中央区	住所	西船見町5932番地445	
根拠法令	—				
設置条例	新潟市水族館条例				
施設概要	設置：平成2年7月(平成25年7月リニューアル) 施設規模：鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造)地上2階・地下1階、敷地面積40,171㎡・延床面積11,491.84㎡ 施設内容：アプローチ棟、本館(日本海大水槽(800トン)、個水槽、体験・学習ゾーン、休憩室(大人150人)、イルカショープール、屋内プール、別館、マリンサファリ、ペンギン海岸、にいがたフィールドなど 料金区分：大人1,500円、小人600円、幼児200円				

施設設置目的
魚類、海獣その他の水生動物に関する知識を広め、魚類等への親しみを深めることにより市民の教養と健全な余暇の活用に資するため
管理・運営に関する基本理念、方針等
運営指針 1. 環境と生物との出会い 水族館敷地は、日本海を望み松林に囲まれた良好な環境にあることから、水族館はそこに立地するにふさわしい環境と生物との出会いの広場とする。 2. 新鮮な感動と豊かな情操を育む 生命を知ることにより得られる新鮮な感動を通じて、次代を担う青少年の情操に資する水族館とする。 3. 種の保存と自然保護 飼育技術の一層の向上と国内外の水族館・動物園・水産研究所との情報交換などにより、水族館の社会的使命である「種の保存」と「自然保護」の啓発に努める。 4. 学習の場として 小中学生を主体とした児童・生徒が、生物の生態を学習できると同時に、入館者の様々な知的欲求にも答えることのできる博物館的機能を備えた水族館とする。 5. レクリエーションの場として 文化的レクリエーション施設として、楽しく学習できるよう娯楽性を取り入れる。 6. 「水の都、にいがた」のシンボルとして 日本海、信濃川など「水の都、にいがた」を特色づけている自然と風土を生かしながら、対岸諸国をはじめ世界の魚類や海獣類等を紹介し、環日本海の拠点都市にふさわしい水族館とする。 (開館当時策定の運営指針「マリンピア日本海10年のあゆみ」より)

視点	評価項目	評価指標	実績	評価	評価コメント
市民	基準利用者数の達成	入館者数年間50万人以上	514,910人・・・評価指標より14,910人多い	A	評価指標を上回り、また、評価できる
		年間パスポート購入者9,800人以上	16,029人・・・評価指標より6,229人多い	A	評価指標を大きく上回り、評価できる
	広報の充実	ホームページアクセス件数年間50万件以上	トップページへのアクセス件数702,602件・・・202,602件多い	A	評価指標を大きく上回り、評価できる
		ホームページ更新件数週10回以上	週平均 38回	A	評価指標を大きく上回り、評価できる
		県外向け広告を行うこと	PRテレビCM(県外)を約460本、新聞広告、WEB広告も効果的に実施	A	県内だけでなく県外に対しても多くの広告を実施し、評価できる
	各種サービス別満足度	「館内アンケート」の「展示内容(生物)に対する満足度」で「満足及び非常に満足」が90%以上	満足及び非常に満足…96.4%	A	非常に高い満足度で評価できる
		「館内アンケート」の「ショーに対する満足度」で「満足及び非常に満足」が90%以上	満足及び非常に満足…94.8%	A	非常に高い満足度で評価できる
		「館内アンケート」の「接客に対する満足度」で「普通」以上が90%以上	普通以上…98.8%	A	非常に高い満足度で評価できる
	苦情・要望に対する対応	回答が必要な場合、2週間以内に連絡を入れるか。(回答が遅れる旨の連絡でも可)	ホームページ及び市長の手紙への苦情・要望に対し、回答を迅速(1週間以内)に対応	A	評価指標を上回る迅速な対応を行っており、評価できる
	事業等の実施	体験・学習ゾーンでのプログラム参加者数2,000人以上	磯のいきもの解説、アクアラボ体験参加者5,103人	A	評価指標を上回り、評価できる
設置目的に合致した特別展示企画を年間4企画以上実施		4企画を実施…「新潟のタナゴ」「隣の魚-クマノミ-」「フォトコンテスト受賞作品展」「カマイルカの繁殖-妊娠・出産・成長の記録-」	A	評価指標を上回り、評価できる	

	設置目的に合致したサービス提供	事業計画書に即した自主事業の実施	25企画・・・マリニピアカレッジ3企画、いきもの教室6企画、にいがたフィールドガイド、記念日イベント2企画、田んぼ体験、その他12企画 うち、ナイトツアーは新型コロナウイルスの影響により中止	A	評価指標を上回り、評価できる
	自然・環境保護活動の実施	自然保護団体等の活動への協力	地元保護団体の観察会への協力、シンポジウムへの協力	A	地域団体への協力を通して社会教育施設としての役割を果たしており、評価できる
		専門的な研究の報告4件以上	2件 「カワヤツメの人工授精とアンモニーテス幼生の育成と展示」「飼育下におけるシロウの育成と成熟」	C	より一層の調査・研究に努めて研究機関としての役割を果たせるように取り組んでほしい
	社会教育活動の実施	ボランティア会員の活動日数を年間160日以上	活動日数131日 登録者数 104人 延べ活動人数 358人	C	新型コロナウイルスの影響の評価指標を達成できなかったが、翌年度は達成に向けて取り組んでほしい
学習支援の受け入れを年間24団体以上（出前講座を含む）		36団体1,317人	A	評価指標を大きく上回り、評価できる	
実習生の受け入れ年間15人以上		0人	C	新型コロナウイルスの影響のためやむを得ず実施せず	
財 務	管理運営経費の節減	管理運営経費を指定管理料年度協定額以下	光熱費をはじめとする諸物価の高騰の中、経費削減に努めた	C	光熱費高騰に伴い、やむを得ない事情ではあったが、経費削減など最大限の努力を行っていた点は、評価する。
	市の歳入の増加	使用料収入を年間452,500千円以上	434,637,276円	C	入館者数がコロナ禍以前水準に回復しているため、今後もより多くの収入の確保に励んでほしい
業 務	業務仕様書等に定める事項の遵守	業務仕様書等に定める事項の遵守	業務仕様書等に定める事項を遵守	A	業務仕様書を遵守し、適切な業務遂行を行っており、評価できる
	日常連絡の適切さ	月次報告書を翌月10日までに提出	翌月10日までに提出	B	
	事業計画・事業報告の適切さ	事業報告書を翌年度4月30日までに提出	翌年度4月30日までに提出	B	
	改善を必要とする際の対応の迅速さ・適切さ	改善勧告等を受けた場合は、速やかにそれに対応する。	改善勧告を受けずに業務を実施	B	
	安全責任者の配置と安全確保体制の確立	連絡体制の確立	緊急連絡網、危機管理フロー	B	
	事件・事故発生時の対応の適切さ	防災訓練年1回実施	防災訓練年2回実施し、非常放送を用いた館内放送も実施	B	
	当該施設の管理に係る関係法令の遵守	コンプライアンス研修の実施	新人職員は対面で実施。それ以外の職員は書面にて実施	B	
	守秘義務の徹底	守秘義務違反に該当する問題がないこと	問題なし	B	
人 材	配置人員条件の充足	業務の基準に定める有資格者を配置しているか	業務基準及び業務で必要な有資格者を配置	B	
	配置人員のミッションの理解度とスキルの習得度	接遇研修を年1回以上実施	職員による接遇研修を年1回実施	B	
		館内研修を年2回以上開催	化学薬品取扱研修 係長以上へのリーダー研修	B	
		研究会や研修会等に参加	(公社)日本動物園水族館協会主催の各種研修会などに多数参加(リモート含む)し、参加だけでなく研究発表も行った	A	参加だけでなく、研究発表も行っており評価できる
労働基準の充足	労働基準違反に該当する問題がないこと	問題なし	B		

評価基準

A:要求水準(=評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている。

B:要求水準(=評価指標)が達成されている。

C:要求水準(=評価指標)が達成されていない。

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

令和4年度の入館者数は、514,910人(対前年度比123.0%)となり、新型コロナウイルス感染症拡大により影響が続いたものの、3年ぶりに500,000人を回復した。評価指標の500,000人を達成し、徐々にコロナ禍前に戻っている。入館料収入も、434,641,876円(対前年度比130.0%)と、昨年度と比較し大幅に増加し、評価指数の452,500,000円に対し96.1%まで回復している。令和5年5月8日からは、感染法上の位置づけが「2類相当」から「5類」に移行されることから、さらなる入館者、入館料収入の増が見込まれる。

年間パスポートの新潟市民の購入意欲は依然として高い。販売数が過去最高であった令和3年度をさらに上回り、16,029人のお客様からご購入いただいた。今後も積極的な広報・宣伝活動を行い、販売数増を図りたい。

また、専門的な知識・技能を持った職員を配置し、ハンズオン展示や教育効果の高いプログラムを数多く実施した。感染対策を実施しながら多くの方に参加していただき、学びの場を提供するとともに、効率的で円滑な運営に努めた。また、継続して毎月実施しているお客様アンケート調査でも展示生物や解説プログラムは高評価を受けている。

経費については、指定管理者として出来る限り節約に努め適切に執行した。建物・設備では、依然として様々な箇所で大規模な不具合が発生している。今後も修繕工事を伴う経費が嵩むことが予想されることから、日常的・定期的に点検を行い、不具合を未然に防ぎ、早期に発見することで被害・損害を少なくするよう努めたい。

前述のとおり、5月8日から感染法上の位置づけが「2類相当」から「5類」に移行される。水族館運営においても、コロナ禍前の状況に戻ることで、評価指標が達成されなかった項目については、実習生受入の再開など要求水準を達成するよう努めていく。

今年度末で新潟市から指定管理者の5年のうち4年が終了した。令和5年度は最後の1年間となるが、法人としても健全な経営ができるよう、開館当初から培ってきた豊富な知識と経験を生かし、多くのお客様に満足していただけるよう職員一丸となって頑張っていきたい。

所管課による総合評価(所見)

令和4年度は、3年ぶりに50万人を上回り、コロナ禍以前と同水準の入館者数に回復した。感染症における制約が緩和されたことが大きい。他にも広報・PRを精力的に行ってきたことが、多くの入館者数の獲得につながったと思われる。入館料収入も前年度を大きく上回ったが、目標としている額には届いておらず、さらなる集客、収入増への取り組みが必要である。

ボランティア会員の活動や実習生の受入れについては、感染症の影響が引き続いたために目標を達成できなかったが、今後の実施によって目標を達成できるように取り組んでほしい。また、社会教育施設としての役割についても対外に発信できるように一層の研究にも取り組んでほしい。

前述のとおり、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、今後観光客の増加が見込まれており、さらに多くの方に楽しんでいただける施設として、魅力的かつ効果的な取り組みに期待している。

本年度は物価や燃料費の高騰により、非常に厳しい施設の運営が求められる中にもかかわらず、経費の削減に確実に取り組んだ点も評価したい。翌年度も厳しい状況が続くと思われるが、今後とも健全な経営に努めてほしい。